

2021年度前期



かわさき市民アカデミー

講座のご案内

誰でも参加できる市民による市民大学

わからないことがわかるとうれしい
語り合う友もできた
だからアカデミー

申込み締切日
2月26日(金)

定員に満たない場合は
先着順で追加募集します。

ホームページもご利用ください！

かわさき市民アカデミー

検索

認定NPO法人 かわさき市民アカデミー
公益財団法人 川崎市生涯学習財団

WS 9	身近なことから持続可能な社会と環境を学ぶ				★は野外学習	オンライン併用 (予定)
	【定員】40名(うち会場定員35名) 【受講料】2年・1年会員ともに11,540円 聴講生12,970円(野外学習安全費用100円を含みます。)					
	【ワークショップ】環境とみどり 【時間】毎回13時15分～15時15分(計12回) ただし、野外学習及び第12回は16時頃終了となることがあります。					
概要	私たちの身近な、川崎市やその周辺地域で、また日常生活の中から、様々なテーマで持続可能な社会と環境を学習していくワークショップです。今期は、2019年台風19号被災と対策、川崎市の環境関連の新たな諸施策を中心に座学を実施します。野外学習については2020年度後期にはほとんど実施できませんでしたが、新型コロナウイルス感染症対策を考慮した内容で再開します。これらの多彩な内容を受講生が協力して準備しました。					
回	月/日(曜)	会 場	学 習 内 容	講師名(敬称略)		
1	4/15(木)	川崎市生涯学習プラザ	はじめのワークショップ	東京大学名誉教授 太田 猛彦		
2	4/22(木)	寺家ふるさと村周辺	★春の植物観察とその生育立地	多摩丘陵舎 北川 淑子		
3	5/13(木)	川崎市生涯学習プラザ	脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」	川崎市環境局地球環境推進室		
4	5/20(木)	川崎市生涯学習プラザ	川崎市プラスチック資源循環への対応方針 ～プラスチックごみの削減に向けて～	川崎市環境局生活環境部 廃棄物政策担当		
5	5/27(木)	トカイナカヴィレッジ	★トカイナカヴィレッジで農業体験～夏野菜の植え付け～	トカイナカヴィレッジ 村役場助役 西山 雅也		
6	6/3(木)	県立大船フラワーセンター	★日比谷花壇のプロが提案する「花と緑のライフスタイル」を体験	神奈川県立大船フラワーセンター職員		
7	6/10(木)	川崎区	★環境にやさしい都市交通 ～路面電車(川崎市電)の痕跡を訪ね歩く～	法政大学講師、産業考古学会理事 中川 洋		
8	6/17(木)	川崎市生涯学習プラザ	日本人の森の思想～『読む』植物図鑑 から～	岐阜県立森林文化アカデミー森林総合教育課長 川尻 秀樹		
9	6/24(木)	木材会館 木材・合板博物館	★木材の可能性を追究したオフィス「木材会館」と世界でも珍しい木材や合板に関する「木材・合板博物館」のダブル見学	東京木材問屋協同組合スタッフ 木材・合板博物館スタッフ		
10	7/1(木)	川崎市生涯学習プラザ	浸水被害の軽減に向けた川崎市上下水道局の取組について	川崎市上下水道局下水道部		
11	7/8(木)	川崎市生涯学習プラザ	川崎市市民ミュージアム～令和元年東日本台風 被災した収蔵品のレスキュー活動について～	川崎市市民文化局市民文化振興室 収蔵品修復調整担当		
12	7/15(木)	川崎市生涯学習プラザ	ワークショップのまとめ	東京大学名誉教授 太田 猛彦		

講座 21	人間学再論—生老病死の思想				オンライン併用 (予定)
	【定員】71名 【受講料】2年会員11,440円 1年会員12,870円 聴講生17,160円				
	人間学 【時間】毎回 13時00分～14時30分(計12回)				
概要	生・老・病・死は、生きものとしてごく「おのずから」のことであるが、人間は他の生きものと違って、それを「みずから」受けとめ、対応することができる。そこに多彩で豊かな人間模様がある。ここでは、そうしたことを人間学再論として縦横に論じてもらう。				
回	月/日(曜)	会 場	学 習 内 容	講師名(敬称略)	
1	4/15(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	やまと言葉で哲学する① おかげ・ほほえみ・いかり、他	東京大学名誉教授 竹内 整一	
2	4/22(木)		やまと言葉で哲学する② ただしさ・たしなみ・うらみ、他		
3	5/13(木)		精神科医キューブラー・ロスが見た死と死後の世界	作家 田口 ランディ	
4	5/20(木)		「あの世」は何を投射しているか——認知宗教学からの考察	国学院大学名誉教授 井上 順孝	
5	5/27(木)		からだところの健康学	軽井沢病院 総合診療科医長 稲葉 俊郎	
6	6/3(木)		科学としての死から、文化としての死へ①	哲学者 内山 節	
7	6/10(木)		科学としての死から、文化としての死へ②		
8	6/17(木)		自分が自分であるための思考のレシピ	前お茶の水女子大学長 羽入 佐和子	
9	6/24(木)		本を出すということ	前筑摩書房社長 山野 浩一	
10	7/1(木)		産霊(むすひ)と無常——神道と仏教の死生観について	京都市大学名誉教授 鎌田 東二	
11	7/8(木)		日本人の死生観をめぐって	東京大学教授 荻部 直	
12	7/15(木)		作陶のさきに見えるもの——美そして存在への問い	陶芸家 矢津田 義則	

WS 10		三島由紀夫『近代能楽集』を読む		* 講義の後に討論あり	オンライン併用 (予定)
【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに17,160円 聴講生18,590円					
【ワークショップ】人間学 【時間】毎回15時00分～17時00分 (計12回)					
概要	三島由紀夫が能楽を近代劇に翻案し、海外でも上演され好評を博した戯曲を、原典の謡曲に重ねて読むことによって、時空をこえたテーマの展開の面白さを、映像をまじえて味わいたいと思います。				
回	月/日 (曜)	会 場	学 習 内 容	講師名 (敬称略)	
1	4 / 15 (木)	川崎市 生涯学習 プラザ	①「邯鄲」を読む—— 夢と現実の反転	東京大学名誉教授 竹内 整一	
2	4 / 22 (木)		観世元雅「邯鄲 (かんたん)」を読む		
3	5 / 13 (木)		②「綾の鼓」を読む—— 「あと一つ打ちさえすれば」		
4	5 / 20 (木)		世阿弥「綾鼓 (あやのつづみ)」を読む		
5	5 / 27 (木)		③「卒塔婆小町」を読む—— 九十九歳の小町の青春		
6	6 / 3 (木)		観阿弥「卒塔婆小町 (そとぼこまち)」を読む		
7	6 / 10 (木)		④「葵上」を読む—— 嫉妬心のゆくえ		
8	6 / 17 (木)		世阿弥「葵上 (あおいのうえ)」を読む		
9	6 / 24 (木)		⑤「班女」を読む—— 「日本中世の色狂いは品格がある」		
10	7 / 1 (木)		世阿弥「班女 (はんじょ)」を読む		
11	7 / 8 (木)		⑥「道成寺」を読む—— 煩惱と解脱のあわい		
12	7 / 15 (木)		作者不詳「道成寺」を読む		
連絡事項	テキスト 三島由紀夫『近代能楽集』(新潮文庫) + 原典コピー				